

No.	推 薦 団 体	氏 名	性 別	市町村名	功 績 等
1	県中地域連合	さとう りょうこ 佐藤 良子	女	須賀川市	<p>・平成19年から須賀川市体育協会副会長を10年間務め、須賀川市のスポーツ振興・発展に貢献した。</p> <p>・現在においても(平成14年から)須賀川バレーボール協会会長を務め、主催大会を数多く開催するなど、生涯スポーツの普及と競技力向上に尽力している。</p> <p>○須賀川市体育協会 副会長 10年</p>
2	県南地域連合	さくらい たかとも 櫻井 和朋	男	白河市	<p>・白河市体育協会の会長・副会長を歴任し、地域のスポーツ振興に貢献しただけでなく、協会の法人化を進め、NPO法人白河市体育協会として独立させ、協会の自立に尽力した。</p> <p>・現在においても福島県野球連盟副会長を務めている。</p> <p>○白河市体育協会 会長 8年、副会長 4年 ※福島県体育協会理事 8年</p>
3	会津地域連合	たまがわ たけし 玉川 武	男	会津若松市	<p>・12年の長きにわたり、会津若松市体育協会副理事長として、会津若松市のスポーツ振興、社会体育の推進及び市民の健康増進等に尽力した。</p> <p>・現在においても福島県スキー連盟副会長を務めている。</p> <p>○会津若松市体育協会 副理事長 12年</p>
4	福島県卓球協会	あめざわ てつひろ 雨澤 哲弘	男	いわき市	<p>・福島県卓球協会の副会長を10年間にわたり務め、協会の発展に寄与するとともに、大会運営と選手の育成強化に尽力するなど功績は大きい。</p> <p>○福島県卓球協会 副会長 10年</p>
5	福島県バドミントン協会	ましこと き 増子トキ	女	郡山市	<p>・現在においても県バドミントン協会の副会長として協会の発展充実に寄与している。1981年に福島県レディース連盟を設立し、本県のレディースバドミントン競技の普及と競技力向上に貢献した。創立以来理事長及び会長として連盟発展に尽力し、日本レディースバドミントン連盟・東北連盟の理事としても活躍した。</p> <p>○福島県バドミントン協会 副会長 36年</p>
6	福島県ソフトボール協会	きむら ひろし 木村 弘	男	いわき市	<p>・平成8年から福島県ソフトボール協会理事に就任し、平成19年からはソフトボール協会副理事長として10年間にわたり、協会の組織運営やソフトボール競技の普及発展に顕著な功績を挙げた。</p> <p>○福島県ソフトボール協会 副理事長 10年</p>
7	福島県ウェイトリフティング協会	わたなべ まさあき 渡辺 正昭	男	伊達市	<p>・10年間の長きにわたり福島県ウェイトリフティング協会の副理事長として競技力の向上及び大会運営に尽力し、競技の普及、振興と協会組織の充実に努めた。</p> <p>また、オリンピック入賞者や、国体監督としても多くの入賞者を輩出した。</p> <p>○福島県ウェイトリフティング協会 副理事長 10年、監事 8年</p>
8	福島県なぎなた連盟	さたけ しげお 佐竹 重男	男	会津若松市	<p>・平成3年に福島県初のなぎなた同好会を設立し、翌平成4年には福島県初のなぎなた部として高体連専門部長を務めた。平成9年からは福島県なぎなた連盟副会長を歴任し、平成19年からは福島県なぎなた連盟会長を務め、福島国体等全国大会の運営・競技力向上等、なぎなたの普及に努めた。</p> <p>○福島県なぎなた連盟 会長 10年、副会長 10年</p>
9	福島県綱引連盟	さいとう まさよし 斎藤 正義	男	福島市	<p>・平成5年に福島県綱引連盟理事に就任した。平成18年からは副理事長、平成24年からは理事長、平成28年からは副会長として組織の強化発展に尽力し、現在に至る。</p> <p>○福島県綱引連盟 副会長 2年、理事長 4年、副理事長 6年</p>
10	福島県障がい者 スポーツ協会	くまだ ようこ 熊田 洋子	女	会津若松市	<p>・平成9年に(公財)日本障がい者スポーツ協会障がい者スポーツ初級指導者資格を取得以降、障がい者の各種大会において競技役員として尽力している。また平成13年より福島県障がい者スポーツ指導者競技会の役員として組織を牽引するなど、長年にわたり活動は顕著である。</p> <p>○平成9年から現在までの20年間、障がい者スポーツの普及・発展に向け尽力している。</p>